

鳥取北ロータリークラブ 2019 2020



国際ロータリーのテーマ

会 長……小林 弘尚 副会長……宮崎 正彦 幹 事……松本 啓介
 会 計……入江 容子 SAA……千金 周一 活動記録担当リーダー……森下 泰年



例会場: ホテルモナーク鳥取 例会日: 火曜日12:30~13:30

Tel.24-3536 Fax.29-6741

■創 立: 昭和36年2月23日 ■事務所: 鳥取市扇町22-1 山陰合同銀行鳥取駅南ビル

E-mail kitarc@infosakyu.ne.jp http://www.infosakyu.ne.jp/kitarc/

今週の例会

2020年2月4日(火) 四つのテスト 第2859回
 ◆君が代・奉仕の理想 ◆卓話「東村、勘右衛門を語る」
 ◆献立 勘右衛門ニラ保存会
 米山ミール 代表 北本孝之氏
 ◆委員会事項 誕生日御祝 ※例会終了後、本年度理事会「梨花の間」
 2/11休会

次週の例会

2020年2月18日(火) 第2860回
 ◆ロータリーソング ※例会終了後、次年度理事会「梨花の間」
 我らの生業 理事会終了後、60周年委員会
 ◆献立 カツカレー 2/21(金)18:30~東部5クラブ合同例会
 ◆勤労学生表彰式 「ニューオータニ鳥取」

先 週 の 例 会

2020年1月28日(火)

会長挨拶

従来、人の寿命はほぼ50年。それ以後は余生とされてきました。しかし、21世紀の今、人々の寿命は延び、「人生100年」時代を迎えようとしています。そこにあるのは、悠々自適の静かな老後ではなく、あと50年どう生きるのか？という、歴史が経験したことのない未踏の世界です。私も来月は80代の世界に突入いたします。まさに自分に対する問題です。作家、五木 寛之氏の著書の中より抜粋してお話します。

- * 50代の事始め＝後半戦の準備期間。道のりは下り坂の認識。
- * 60代の再起動＝今まで体力に任せて習慣的にやっていたことをリセットする。(酒、タバコ)モノを減らし、様々な雑事を削ぎ落とす。
- * 70代＝黄金期。学問に再挑戦する。
- * 80代＝自分ファーストに徹する。
- * 90代＝妄想のすすめ → 妄想力を使い、過去の楽しいことを思い出し、郷愁に浸る。

幹事報告

1. 到着文書
 - ・特になし
2. 例会変更・メーカーシップ情報

クラブ名	日にち・受付会場	
鳥取中央RC	2.10(月)	ホテルニューオータニ鳥取
	2.17(月)	
鳥取RC	2.20(木)	アクティビル鳥取5階
鳥取西RC	2.21(金)	ホテルニューオータニ鳥取
倉吉RC	2.18(火)	倉信うつぶき支店
	4.21(火)	
倉吉中央RC	2.19(水)	倉吉シティホテル
倉吉東RC	2.20(木)	倉吉シティホテル
米子南RC	2.10(月)	ANAクラウンプラザホテル米子
	3.16(月)	
	3.30(月)	
米子東RC	2.12(水)	ANAクラウンプラザホテル米子

クラブ名	日にち・受付会場	
米子RC	2.14(金)	ANAクラウンプラザホテル米子
境港RC	2.18(火)	アジアンレストランアグニ
	3.24(火)	

3. その他連絡事項

- ・4月5日の米子での合同IMへの参加要請
- ・米山寄付証明書は来週配布予定
- ・里山整備事業について事業費約24万円のうち3分の2の約15万6000円の補助金が認められたこと
- ・西浦会員の介護事業に関して「アイデア賞」受賞の記事が日本海新聞に掲載されたこと
- ・田中英剛会員がロータリーの友のパズルに応募し、当選したこと
- ・各事務局あてに不審メールが届いているので注意喚起。

委員会報告

◎出席率報告

1月28日会員47名中 欠席11名 76.60%
1月7日補正後 欠席7名 85.11%

◎クラブ総務委員会大谷委員長より

現在の会員数47名。会員増3名を目標に今期末には50名をと取り組んでいます。なかなか厳しい状況です。会員の皆様からの入会候補者の紹介をお願いします。候補者の方には「RCの奉仕の理念を理解していただくことは勿論ですが、会員として実感しておられるRCの良さ」を伝えてもらい、一人でも多くの候補者の掘り起こしをお願いします。

◎入会記念日御祝

田中和夫さん 中島規夫さん

メーキャップ

1/27 米子南RC 秦野諭示さん
1/27 鳥取RAC 白岩裕己さん

***スマイル報告**(本日4,000円 累計252,000円)
小林弘尚さん 1月23日、日本海新聞「ゆかいな仲間」の紙面に、我が「鳥城ソフトボールクラブ」の今年度総会の写真が掲載されました。総勢50名のチームです。年齢別に4チーム保有しています。今年の目標は各チーム全国大会1勝です。

松本啓介さん 鳥取砂丘に高級ホテルの建設が進んでいますが、本多さん、今日の卓話、楽しみにしています。

福田 収さん 雪が降りませんね～。

田中英剛さん ロータリーの友の景品が当たりました。忘れたときにやってきて、ちょっと嬉しいです。

***2大御祝**(本日0円 累計72,000円)

卓話

「入会の動機と高級ホテルについて」

本多 崇さん

さて、今回は鳥取北ロータリークラブに入会したいきさつ、最近仕事で感じた事などをお話したいと思います。

私は、再生機構等による宿泊施設再生事業及びホテルの新規事業計画に携わっており、9年前よりご縁があり鳥取へ参りました。これまで、ホテル・旅館等の宿泊施設の立て直しと立ち上げを中心に携わって参りました。

これまでのどの仕事もロータリークラブの「四つのテスト」に通じており、自分と照らし合わせた時、自分もこれを基準とし、その地域



商圈に合った存続を考えて取り組んで参りましたので、根底の思いがバチッと合うと感じ、水野さんにご推薦いただきロータリークラブに入会いたしました。

さて、昨年、菅官房長官より「日本には世界の富裕層を満足させるホテルが足りない」というお話がございました。「各地に世界レベルの高級ホテルを50ヶ所程度新設することを目指す」とも言われています。鳥取においても、約2年ほど先に砂丘に出来るというような話を、つい2～3日前に耳にいたしました。共に鳥取を盛り上げていく仲間ができるという事は大歓迎です。

実際、現在日本に来ている富裕層は訪日外国人全体の約1%にもかかわらず、消費額は訪日外国人全体の約13%を占めていると言われてるようです。

「5つ星の高級ホテル」は大都市に集中しており、今後は観光エリアをどのように地方に分散させるか、交通や総合的なエリアデザイン等を考えながら高級ホテルを作っていく必要があると思います。

さらに、富裕層に対する日本の「サービス」も見直していく必要があると感じています。海外の富裕層から見た日本は、建物(ハード)は素晴らしいが、サービスレベルが追いついていないとよく聞きます。日本は「おもてなしの国」と言われていますが、海外富裕層に限っては、ギャップがあるようです。

日本の「サービス」は、全てのお客様に均等に丁寧な接するサービスが基本で、その平均値は国際的にもはるかに高いと言われています。しかし、世界の富裕層が希望するのは、例えば満席でも観劇や体験が出来たりと、現在の日本のサービスとは異なるようです。

それに加え「本物」である事が必要な為、器等全ての物が一つ一つ地域の文化や歴史に基づいたものが求められます。このようなことが海外富裕層からのニーズとなると、容易ではないのですが、現状を今一度見直していく必要があるように感じています。

(担当 大谷芳徳)



1/26 ローターアクト例会風景(白岩事務所)